



2023(令和5)年12月4日

福山市立日吉台小学校

5年学年通信 No.22



音楽科 鑑賞の学習より



音楽の時間に、日本の歌曲（山田耕筰が作曲した歌曲）について学習しました。歌詞の様子を思い浮かべたり、作詞者・作曲者・演奏者が工夫していることを見つけながら聴いたりしました。3曲の中から、自分が選んだ曲についてまとめたので、紹介します。

「待ちぼうけ」 北原白秋作詞 山田耕筰作曲

この曲の歌詞は、一人の男性が仕事をしているとうさぎが切り株で転がり、またうさぎが転んでくれるだろうと待ち続けた末路を描いています。

また、1番から物語がつながっているので、とても分かりやすく聴きやすいです。

この曲を聴いて、いろいろな工夫がされていると分かりました。4番、5番は、ずっと待ってもうさぎが来ないという後悔をしてしまうように、歌手はゆっくりゆっくりと歌っているので、様子がとても分かりやすく伝わってきます。

高垣 沙奈

「この道」 北原白秋作詞 山田耕筰作曲

この曲の歌詞は、昔来た所について、なつかしく語り合っているようです。1番から4番まで、間に「ああ そうだよ」という言葉があって、昔を思い出す感じが伝わってきます。

曲は、なつかしい感じで、外を見て思い出している感じが表されている気がします。

演奏もゆったりな感じがして、広がりを感じました。

成田 陽竜

「この道」 北原白秋作詞 山田耕筰作曲

この曲の歌詞は、一度通った道や、一度見た風景や、思い出したことを表しています。二人で演じている様子で、思い出した人に対して「ああ そうだよ」と答え、こんな感じだったねと思い出しているようで、聴き取りやすい曲だと思います。

また自分もその風景を想像できる曲でした。強弱が、小さくなって、どんどん大きくなるから、きれいな曲だと思いました。

この曲を色々な演奏の種類で聞き比べると、独唱は一人で歌っているから一人で思い出していて、合唱はみんなで歩きながら思い出しているような情景が想像できました。

千原 彪雅

「赤とんぼ」 三木露風作詞 山田耕筰作曲

この曲は、赤とんぼを見てふるさとを思い出している様子を歌にしています。歌詞は、八字・五字の繰り返しになっていて、リズムがいいです。

曲は、話し言葉に近い旋律なので、聴きやすくおもしろいです。

演奏はすごくきれいです。1番と2番はソプラノとアルトが歌っていて、よくひびきます。3番と4番はテノールとバスが歌っていて、低いけどよくひびきます。だから、私は、赤とんぼが好きです。

藤川 梨湖

【まとめたときのポイント】

- ①歌詞について（作詞者の工夫）
- ③演奏について（演奏者の工夫）

- ②曲について（作曲者の工夫）